

栃木市監査委員告示第2号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による定例監査を、都市監査基準に準拠して実施したので、同条第9項の規定によりその結果を次のとおり公表いたします。

平成30年 1月11日

栃木市監査委員 藤 沼 康 雄

栃木市監査委員 天 谷 浩 明

1. 監査の実施日 平成29年12月25日

2. 監査の対象 産業振興部

商工振興課 観光振興課 農業振興課

農林整備課 産業基盤整備課

大平産業振興課 藤岡産業振興課

都賀産業振興課 西方産業振興課

岩舟産業振興課

3. 監査の方法

平成29年11月末日までに執行された事務事業について、関係する帳簿類、証ひょう書類の提出を求め、その効率性と適法性等を照査、検討し、関係職員の説明を聴取して実施した。

4. 監査の結果

次のとおり

## 産業振興部

### ◎ 商工振興課

#### 1. 事務組織及び職員

商工振興課には2係が置かれ、課長ほか7名でそれぞれ事務を分掌している。

#### 2. 事務事業の実施状況

商業金融係では、大規模小売店舗立地法事務、産業支援補助事業、「産業と物産展」の開催、中小企業向け資金融資事業、小規模事業者経営改善資金融資制度利子補助事業、ビジネスプランコンテスト事業、プレミアム商品券事業等が行われた。

工業労働係では、陸砂利採石監視事業、大光寺工業団地管理事業、工場立地法に係る事務、働く場における人権啓発事業、勤労者総合福祉センター管理運営委託事業、勤労者福祉サービスセンター支援事業、勤労青少年ホーム管理運営委託事業、技能センター運営事業、勤労者体育センター管理運営委託事業等が行われた。

#### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 2,526,485,000 円に対し、収入済額 781,737 円で 0.03% の収入率である。

その主なものは、勤労者総合福祉センター飲物自動販売機設置貸付料、旧栃木警察署敷地土地貸付金である。

一般会計の歳出は、予算現額 2,676,639,000 円に対し、支出負担行為額 2,149,678,155 円で 80.31% の執行率である。

その主なものは、勤労青少年ホーム指定管理委託料、勤労者福祉サービスセンター補助金、勤労者総合福祉センター指定管理委託料、勤労者住宅資金融資預託金、中小企業創業資金融資預託金、中小企業向け資金融資信用保証料補助金、中小企業緊急景気対策特別資金融資預託金、中小企業向け資金融資預託金、プレミアム商品券事業補助金である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎ 観光振興課

### 1. 事務組織及び職員

観光振興課には2係が置かれ、課長ほか11名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

観光企画係では、鯉飼育管理事業、観光振興宣伝事業、観光行事補助金事務、観光資源開発活動補助金事務、観光情報物産館管理運営事務、東京スカイツリーアンテナショップ事業、栃木市ブランド推進協議会交付金事務、観光まちづくり事業、横山郷土館管理運営事業、「本物の出会い栃木」DC誘客促進事業等が行われた。

フィルムコミッション・イベント係では、観光行事負担金事務、山車会館管理運営委託事業、蔵の街観光館管理運営委託事業、倭町小江戸ひろば管理運営事業、サイクル・フルーツライド事業、山車会館外国人旅行者受入環境整備事業、とちぎ江戸料理誘客促進プロジェクト事業等が行われた。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額7,466,000円に対し、収入済額4,643,630円で62.20%の収入率である。

その主なものは、観光館テナント使用料、横山郷土館入館料である。

一般会計の歳出は、予算現額121,571,000円に対し、支出負担行為額80,967,494円で66.60%の執行率である。

その主なものは、山車会館指定管理委託料、蔵の街観光館指定管理委託料、栃木市観光協会補助金、観光行事補助金、観光情報物産館管理運営業務委託料である。

一般会計の歳出（繰越明許）は、予算現額56,414,000円に対し、支出負担行為額53,197,560円で94.30%の執行率である。

その主なものは、横山郷土館トイレ改築工事費、山車会館映像設備改修業務等委託料である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎ 農業振興課

### 1. 事務組織及び職員

農業振興課には3係が置かれ、課長ほか14名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

農政係では、農業近代化資金利子補給事業、農業経営基盤強化資金利子助成事業、県南公設地方卸売市場運営事業、経営所得安定対策直接支払推進事業、栃木市農業再生協議会事業、新規就農支援事業等が行われた。

振興係では、稲等病虫害防除事業、とちぎアグリフェスタ事業、首都圏農業確立対策事業、地域農産物活用事業、都市農村交流事業、農産物PR事業等が行われた。

農用地係では、農業経営基盤強化促進対策事業、農業振興地域整備計画改定事業、農地利用集積確保事業、人・農地プラン推進事業、栃木市農業公社運営補助金事業、「何とかしたい農」からはじまる事業、農用地データ統合事業等が行われた。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 94,424,000 円に対し、収入済額 36,444,328 円で 38.60% の収入率である。

その主なものは、人・農地プラン推進事業費補助金、経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金、栃木県南公設地方卸売市場事務組合職員給与負担金等である。

一般会計の歳出は、予算現額 271,944,000 円に対し、支出負担行為額 149,189,178 円で 54.86% の執行率である。

その主なものは、栃木県南公設地方卸売市場運営事業法定負担金、経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金、農業次世代人材投資事業補助金、水田フル活用促進整備事業費補助金、栃木市農業公社運営費等補助金である。

一般会計の歳入（繰越明許）は、予算現額 64,781,000 円に対し、収入済額 64,781,000 円で 100.00% の収入率である。

その内容は、首都圏農業確立対策事業費補助金（産地パワーアップ事業）である。

一般会計の歳出（繰越明許）は、予算現額 64,781,000 円に対し、支出負担行為額 64,781,000 円で 100.00% の執行率である。

その内容は、産地パワーアップ事業費補助金である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎ 農林整備課

### 1. 事務組織及び職員

農林整備課には2係が置かれ、課長ほか7名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

農林整備係では、土地改良区育成強化事業費補助金事務、多面的機能事業、西前原地区県営かんがい排水事業負担金事務、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金事務、農業農村整備事業、部屋南部地区かんがい排水事業、出流ふれあいの森運営委託事業、森林山村多面的機能発揮対策事務等が行われた。

獣害対策係では、有害鳥獣対策事業等が行われた。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 164,872,000 円に対し、収入済額 93,031,655 円で 56.43%の収入率である。

その主なものは、多面的機能支払推進交付金である。

一般会計の歳出は、予算現額 357,947,000 円に対し、支出負担行為額 199,702,711 円で 55.79%の執行率である。

その主なものは、多面的機能支払交付金、西前原地区県営かんがい排水事業負担金、県単独農業農村整備事業費排水路改修等工事費、獣害対策設備設置費補助金、石川排水機場調査業務委託料、農業水利施設保全合理化事業負担金である。

一般会計の歳出（繰越明許）は、予算現額 19,872,000 円に対し、支出負担行為額 18,182,980 円で 91.50%の執行率である。

その主なものは、太平山神社裏山山腹崩壊箇所復旧事業負担金である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎ 産業基盤整備課

### 1. 事務組織及び職員

産業基盤整備課には2係が置かれ、課長ほか6名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

企業立地係では、企業誘致事業、宇都宮西中核工業団地事務組合に係る事務、企業立地促進事業等が行われた。

基盤整備係では、栃木インター周辺開発事業、都賀インター周辺開発事業、佐野藤岡インター周辺開発事業、市道2034(241)号線外舗装修繕事業、市道D311号線外道路新設改良事業、千塚町上川原産業団地造成事業等が行われた。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳出は、予算現額384,257,000円に対し、支出負担行為額260,833,660円で67.88%の執行率である。

その主なものは、企業立地奨励金及び用地取得奨励金、宇都宮西中核工業団地事務組合負担金、栃木インター周辺現況平面測量業務委託料、市道14111(D311)号線新千塚橋上部工事費である。

一般会計の歳出(逡次繰越)は、予算現額1,034,800円に対し、支出負担行為額967,600円で93.51%の執行率である。

その主なものは、市道14111(D311)号線新千塚橋上部工事費である。

千塚町上川原産業団地特別会計の歳入は、予算現額1,603,387,000円に対し、収入済額2,264,895,445円で141.26%の収入率である。

その主なものは、分譲地の売払収入である。

千塚町上川原産業団地特別会計の歳出は、予算現額1,603,387,000円に対し、支出負担行為額1,476,571,502円で92.09%の執行率である。

その主なものは、自然環境モニタリング調査等業務委託料、千塚町上川原産業団地舗装工事費、市債償還元金である。

千塚町上川原産業団地特別会計の歳入(繰越明許)は、予算現額102,760,000円に対し、収入済額60,000円で0.06%の収入率である。

その内容は、前年度繰越金である。

千塚町上川原産業団地特別会計の歳出(繰越明許)は、予算現額102,760,000円に対し、支出負担行為額102,759,200円で100.00%

の執行率である。

その内容は、千塚町上川原産業団地道路築造宅地造成工事費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。



## ◎ 大平産業振興課

### 1. 事務組織及び職員

大平産業振興課には2係が置かれ、課長ほか9名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

農林振興係では、農業経営基盤強化促進対策事業、産業祭開催事業、農村女性活動活性化事業、多面的機能事業、林業総務事務、治山林道管理事業、松くい虫防除委託事業、有害鳥獣対策事業、農業基盤整備促進事業等が行われた。

商工観光係では、買い物代行サービス事業、産業振興補助事業、工業開発事業、プラッツおおひら管理運営事務、かかしの里管理事業、観光行事負担金事務等が行われた。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 4,108,000 円に対し、収入済額 2,619,990 円で 63.78%の収入率である。

その主なものは、かかしの里使用料、プラッツおおひら自動販売機設置収入である。

一般会計の歳出は、予算現額 141,509,000 円に対し、支出負担行為額 112,362,377 円で 79.40%の執行率である。

その主なものは、大平みずほ企業団地用地購入費償還金、大平町商工会事業費補助金、プラッツおおひら指定管理委託料、なつこい等実行委員会負担金、多面的機能支払交付金である。

一般会計の歳出（繰越明許）は、予算現額 4,921,000 円に対し、支出負担行為額 4,920,368 円で 99.99%の執行率である。

その主なものは、取水堰改修工事費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎ 藤岡産業振興課

### 1. 事務組織及び職員

藤岡産業振興課には2係が置かれ、課長ほか8名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

農林振興係では、産業祭実行委員会負担金事務、わたらせふれあい農園管理運営事業、有害鳥獣対策事業、道の駅みかも管理運営委託事業、農業経営基盤強化促進対策事業、多面的機能事業、西前原たん水防除事業、地籍調査事業等が行われた。

商工観光係では、産業振興補助事業、観光振興宣伝事業、観光行事負担金事務、観光行事補助金事務等が行われた。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 20,818,000 円に対し、収入済額 13,009,629 円で 62.49%の収入率である。

その主なものは、道の駅みかも自動販売機設置収入、道の駅みかも指定管理者市納入金等である。

一般会計の歳出は、予算現額 67,483,000 円に対し、支出負担行為額 35,724,098 円で 52.94%の執行率である。

その主なものは、藤岡町商工会事業費補助金、渡良瀬バルーンレース実行委員会負担金、多面的機能支払交付金である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎ 都賀産業振興課

### 1. 事務組織及び職員

都賀産業振興課には2係が置かれ、課長ほか7名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

農林振興係では、農業経営基盤強化促進対策事業、グリーンツーリズム事業、多面的機能事業、明るく安全な里山林整備事業、臼久保地区緑地保全用地管理事務、生出宿里の駅施設管理事務、有害鳥獣対策事業等が行われた。

商工観光係では、産業振興補助事業、観光資源開発活動補助事業、観光行事負担金事務、観光資源保全推進事業等が行われた。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 552,000 円に対し、収入はない。

一般会計の歳出は、予算現額 61,106,000 円に対し、支出負担行為額 39,037,551 円で 63.88%の執行率である。

その主なものは、都賀町商工会事業費補助金、つがの里花まつり負担金、多面的機能支払交付金である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎ 西方産業振興課

### 1. 事務組織及び職員

西方産業振興課には2係が置かれ、課長ほか6名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

農林振興係では、県営農業用河川工作物応急対策事業、都市農村交流事業、治山林道管理事業、木とのふれあい体験事業、有害鳥獣対策事業、農産物加工所管理運営事業、農村婦人の家管理運営事業、道の駅にしかた管理運営事業等が行われた。

商工観光係では、産業振興補助事業、金崎桜堤管理事業、さくら基金積立金事業、観光振興宣伝事業、観光行事負担金事務等に関する事務が行われた。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 20,949,000 円に対し、収入済額 8,559,419 円で 40.86%の収入率である。

その主なものは、道の駅にしかた自動販売機設置収入、道の駅にしかた指定管理者市納入金である。

一般会計の歳出は、予算現額 121,862,000 円に対し、支出負担行為額 39,762,246 円で 32.63%の執行率である。

その主なものは、西方商工会事業費補助金、県営農業用河川工作物応急対策事業負担金、県単独農道整備事業（向宿地区）工事費、道の駅にしかた販売機器等修繕料及び土地賃借料である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

## ◎岩舟産業振興課

### 1. 事務組織及び職員

岩舟産業振興課には2係が置かれ、課長ほか7名でそれぞれ事務を分掌している。

### 2. 事務事業の実施状況

農林振興係では、多面的機能事業、県単独農業農村整備事業、市単独土地改良事業補助金事務、治山林道管理事務、木とのふれあい体験事業委託事務、森を育む人づくり事業交付金事務、有害鳥獣対策事業、むらづくり施設管理運営委託事業、観光農園いわふね支援事業等が行われた。

商工観光係では、産業振興補助事業、観光資源開発活動補助金事務、観光施設管理事業、観光振興宣伝事業、観光行事補助金事務、岩舟のふるさとPR事業等が行われた。

### 3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 5,385,000 円に対し、収入済額 1,522,690 円で 28.28%の収入率である。

その主なものは、農業施設敷地使用料である。

一般会計の歳出は、予算現額 140,070,000 円に対し、支出負担行為額 95,547,544 円で 68.21%の執行率である。

その主なものは、岩舟町商工会事業費補助金、いわふね夏まつり実行委員会補助金、多面的機能支払交付金、むらづくり施設指定管理委託料、観光農園いわふね運営等資金貸付金である。

一般会計の歳出（繰越明許）は、予算現額 800,000 円に対し、支出負担行為はない。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。